

14

あなたは家庭や地域の宝物

教師用指導例

6年 東書版 p.28

めあて 家庭や地域でできることを考えよう。

【学習指導要領との関連】内容 A 家庭生活と家族
(3) 家族や近隣の人々とのかかわりについて、次の事項を指導する。
ア 家族との触れ合いや団らんを楽しむ工夫をすること。
イ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1 家族の一員として家庭や地域でできることを考えます。家庭科楽習ノート28ページを開きます。
- 発問 1 【①やってみよう】。ある町の様子です。絵を見て、分かったこと、気がついたこと、思ったこと、どんなことでも構いません。できるだけたくさん、お隣の人と言い合ひましょう。
- 指示 1 【①やってみよう】。地域の環境がよくなるために必要なところが青で囲まれています。自転車が歩道に飛び出ている場面にあてはまるシールを貼ります。
- 指示 2 貼れた人は、なぜそれが地域の環境が良くなることにつながるのか、その横に理由を書いておきます。
- 指示 3 できた人は、ほかも同じようにやってみます。
※できたら答え合わせをする。

2 課題を追究する

- 発問 1 ノートの町と同じように、自分の生活の仕方や地域の環境がもっとよくなったらいいなと思ふことがありますね。自分が気になっていることを、【②考えよう】の気づいたことに書きます。
※物やエネルギーの使い方、資源を生かす活動、地域社会でのルールやマナーなどについて考えさせる
とよい。
- 説明 2 どんな問題があるか、班（グループ）ごとに発表し合ひます。
- 指示 1 話し合えたら、改善のための工夫を書いておきます。

- 指示 2 改善のためのくふうを班（グループ）で発表し合ひます。その後、いいと思つたものを班で一つ黒板に書きに来ます。
※書けたら前に持ってこさせ、黒板に書かせて待たせておく。
(以下のような記入の例を参考として示してもよい。)

記入例	気づいたこと	改善のための工夫
物の使い方	お店のセールで調理の材料をたくさん買ひ、結局くさらせてしまった。	ごみを増やさないように、調理の材料は計画を立てて、食べる分だけ買う。
エネルギーの使い方	電気ストーブの温度はなるべく高くして、日中はずっとつけている。	エネルギーを節約してするために、ストーブの置き方を変えたり、重ね着をしたりする。
資源を生かす活動	燃やすごみと空きかん・ペットボトルを同じ袋に入れて捨ててしまう。	空きかんやペットボトルを資源として再利用できるように、分別して出す。
地域社会でのルール	地域のごみ置き場がカラスで荒らされて、きたなくなつていた。	カラスが荒らさないように、ネットをはってもらえるよう町会の方をお願いする。
地域社会でのマナー	横断歩道前の点字ブロックの上に、自転車がとまっていた。	地域の決まつた場所に自転車をとめるようにポスターで呼びかけ、自分も気をつける。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 指示 3 それでは黒板の前に出て発表してもらいます。気づいたことは〇〇です。改善のために、〇〇をしたらいいと思ひます、のように班ごとに発表します。
今の意見に、質問や付け足し、反対意見がある人はいますか。立って意見を言ひます。
質問、反対意見が出されたら、書いた人は必ず立って答えます。
答えられない時は、『調べます』や『答えられる人いますか』と聞いてみます。

5 まとめる

- 説明 1 今回は、わたしたちの住んでいる地域について改善策を考えることができました。これから中学生になり、地域で活躍することがますます期待されています。自分たちの生活のしかたや地域をよりよくするという視点を持ち続けていきましょう。

板書の例

気づいたこと	改善のための工夫
お店のセールで調理の材料をたくさん買ひ、結局くさらせてしまった。	ごみを増やさないように、調理の材料は計画を立てて、食べる分だけ買う。
電気ストーブの温度はなるべく高くして、日中はずっとつけている。	エネルギーを節約してするために、ストーブの置き方を変えたり、重ね着をしたりする。
燃やすごみと空きかん・ペットボトルを同じ袋に入れて捨ててしまう。	空きかんやペットボトルを資源として再利用できるように、分別して出す。